

◆◇被災地支援の取り組み◆◇

平成23年3月11日に「東日本大震災」が発生、続く3月15日、富士宮市が、震度6強の地震にみまわれました。

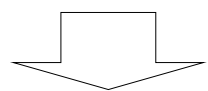
生徒達は、東北地域で被災された方々のために、自分達がもらった給料の中から、500円ずつ出し合って、岳南朝日新聞社を通じて、「義援金21,000円」を送りました。

平成23年度

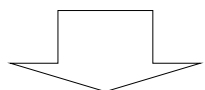
「東日本大震災で被災した仲間を元気づけたい!!」

◎東北3県の特別支援学校に「福ろうカレンダー」を贈ろう。

◎児童養護施設の仲間達に、「図書カード」を贈ろう。



カレンダーを送る先は復興の進展によって減っていますが、この取り組みは、現在も続いています。



福島県、岩手県の特別支援学校、施設からお礼の手紙が届く。



この活動は、災害に関する、防災学習につながっていききました。「富士宮では、どんな災害が起きる可能性があるのだろうか。」「どうして災害が起きるのだろうか。」「災害が起きたとき、どうすればよいのだろうか。」など、たくさんの課題が生まれ、学習につながっていききました。このように、地震だけでなく、台風、洪水、土砂災害、噴火など、各種の災害について、今も学びを深めています。

また、各校から、「東日本大震災の被災地以外にも義援金を届けたい。」という声が高まり、毎年、その年の災害について学び、義援金を送る活動に発展し、現在も続いています。

「お金の生きた使い方とは何か。」「社会の中で共に生きるとはどういうことか。」福ろう製作所の活動を通して問い続けています。

◆◇福ろう製作所活動風景◆◇



集中作業実習



合同学習会



実演販売（花鳥園）



実演販売（浅間大社）

◆◇福ろう製作所製品紹介◆◇



福ろうカレンダー



福うちわ



ポチ袋



福ろうキーホルダー



福ろうストラップ



福しおり

令和2年度



福ろう製作所

「明日を今日よりも
よい日にしたい・・・」

富士宮市立中学校
特別支援学級

富士宮市立富士宮第二中学校
富士宮市立富士宮第四中学校
富士宮市立富士根南中学校
富士宮市立北山中学校
富士宮市立芝川中学校

代表連絡先：富士宮市立富士宮第二中学校
〒418-0068
富士宮市豊町17番1号
TEL (0544) 27-7369
FAX (0544) 22-1538

◆◇福ろう製作所の歩み◆◇

年度	主な取り組み
H14	富士宮市立富士宮第二中学校の特別支援学級で、美術作品として、ふくろうのカレンダーを福祉作品展に出品する。市民の方の声「このカレンダーは売ってもらえないのかな？」
H15	富士宮市立富士宮第二中学校の特別支援学級で、「福ろう製作所」がスタートする。 「お客さんに喜んでもらえる製品を作ろう。」 「売上金の一部を歳末助け合いに寄付しよう。」 →福ろう製作所の原点
H17	富士宮市立北山中学校が参加。地域に根ざした活動を目指す。
H19	富士宮市立北山中学校が「富士国際花園（現富士花鳥園）」でプレゼンテーションと販売を行う。（現在まで続く） 「観光客の方々に自分たちの活動を知ってもらおう。」
H20	富士宮市立富士根南中学校が参加。3校体制になる。
H22	富士宮市立富士宮第四中学校、富士宮市立芝川中学校が参加。現在の5校体制になる。 ◎静岡新聞社「あすなろ賞」を受賞（H23.1） 社会自立に向けた取り組み、社会貢献活動が認められる。
H23	東北支援の取り組みスタート。 東北3県の特別支援学校・施設に「福ろうカレンダー」を贈る。（現在まで続く）
H24	R I N G R I N Gプロジェクト新世紀未来創造補助事業（公益財団法人 JKA）の指定を受ける。
H25	◎台風で被害を受けた伊豆大島へ義援金を送る。
H26	◎地震で被害を受けた長野県白馬村へ義援金を送る。
H27	◎鬼怒川の水害、沖永良部島の被災地に義援金を送る。
H28	◎熊本地震の被災地に義援金を送る。
H29	◎九州北部豪雨の被災地に義援金を送る。
H30	◎広島豪雨災害の被災地に義援金を送る。
R 元	◎台風第 19 号災害の被災地に義援金を送る。

◆◇福ろう製作所とは◆◇

「明日を今日よりもよい日にしたい…」

それが私たちの願いです。

「ふくろう」は、「知恵」と「武芸」の鳥として、また、その語呂合わせから、「不苦労」「福朗」＝「幸せを呼び、繁栄をもたらす、とても縁起のよい鳥」として知られています。

「福ろう製作所」は、富士宮市内の中学校特別支援学級に在籍している私たちの社会自立に向けて設立された「疑似会社」です。

総合的な学習の時間と作業学習の時間を活用して、切り絵によって、ひとつひとつ部品となる「福ろう」を手作りし、「カレンダー」や「はがき」、「しおり」「キーホルダー」「うちわ」などの、様々な「福ろう製品」に仕上げ、販売しています。

私たち「福ろう製作所」の製品には、「明日を今日よりもよい日にしたい…」という願いが込められています。

製品を手にとってくださる皆さんにとって、明日が今日よりもよい日になることを願うとともに、自立を目指して学習に取り組んでいる私たち福ろう製作所社員にとっても「明日が今日よりもよい日になるように、頑張っていきましょう」という思いを込めて、一生懸命作業に取り組んでいます。

私たちの作った「福ろう製品」は、地元の皆様の協力を得て、土産物などとしても、販売させていただいています。そのことにも、心から感謝しつつ、社会の一員としての責任を考え、私たちができる社会貢献活動にも、積極的に取り組んでいます。



◆◇1年間の主な活動◆◇

月	活動	活動内容
4	第1回合同学習会	新入社員（新入生）に向けて、前年度の、活動内容や、取り組みを通して学んだことなどの、プレゼンテーションを行います。また、今年度の製品や活動計画について説明を聞き、全員が目標を持ち意欲を高める学習会です。
7	合同集中作業実習	3～4日間連続で、本社（二中）に、全社員が出勤し終日作業を行います。作業記録簿を用いながら、将来の職業人として必要な作業態度、返事や報告、言葉遣い、食事のマナー、衣服の着脱、整理整頓など、実践的に学んでいきます。また、3年生は富士宮浅間大社の「ここずらよ」前で実演販売を行います。
7	合同校外活動	地域の観光施設「富士花鳥園」さんにお邪魔して、直接お客様とふれあいながら、「実演販売」や「キャリア体験」、「フクロウに関する調査活動」などを行います。富士山が世界文化遺産に登録されてからは、地元の富士山について、より深く知るための学習活動も行っています。
1	合同学習会 切り絵技能検定	4月からの取り組みの成果を、保護者や地域の方々に報告します。また、社員は、それぞれの働きに応じて、社長さんから「給料」を受領します。給料は、貯金をしたり、社員旅行の小遣いとして使ったりすることを通して、お金を生かして使うことを学びます。 午後には技能検定が行われ、社員全員が、切り絵の技能を競います。
3	福利厚生事業 社員旅行	福利厚生事業として、社員全員でバス旅行をします。1年間のお互いの労をねぎらうとともに、静岡県内の各地について、見聞を広めます。また、お金の使い方、食事のマナー、公共施設の利用の仕方などについて、体験を通して学びます。

* 日常的な活動として、各学校で製品の製造に取り組んでいます。また、各学校の教育計画の元、キャリア教育等との連携を図ります。

* このほか、金融学習、校内販売、調べ学習など他教科・領域の学習と組み合わせながら、学習を進めます。